

患者各位

周術期口腔機能管理における研究調査のご協力お願い

社会医療法人ジャパンメディカルアライアンス
海老名総合病院 病院長 服部 智任

調査内容：

「周術期口腔機能管理の臨床的検討」

調査の意義：

手術や化学療法など時期に口腔内環境を整えることは重要なことで、傷の治りや誤嚥性肺炎の発症リスク、口腔粘膜炎の発症を低下させることがわかってきました。そのことは医療費総額の抑制、入院期間の短縮などにもつながるとされています。当院においても平成26年より周術期口腔機能管理を実施しており、今後、介入患者により効果的な介入を実施するために、電子カルテの記録から周術期口腔機能管理における現状の介入方法の効果の検討および課題の抽出することを目的として、研究することとなりましたのでお知らせいたします。

記

調査方法：

平成28年4月～平成30年3月（昨年度）までの2年間に当院で入院加療を行った患者カルテから後方視的に調査を行います。

主な調査項目：

原疾患とその治療内容、入院後の肺炎を含む併発症の有無や、入院期間、歯科処置の有無、かかりつけ歯科の有無などの項目を調査します。

個人情報保護について：

本研究は、文部科学省・厚生労働省「疫学研究に関する倫理指針」（平成20年12月1日一部改正）を遵守し、当院倫理審査委員会での承認を得た上で実施します。研究成果の公表に際しては、個人が特定されることのないように配慮します。本研究へのデータ使用や同意に伴う利益と不利益はありません。収集したデータは、本研究以外に使用することはありません。

データの使用に関して同意できない場合にはデータの削除を行いますので問い合わせ窓口までお申し出ください。

以上

問い合わせ窓口：

歯科衛生科 主任 中村千華